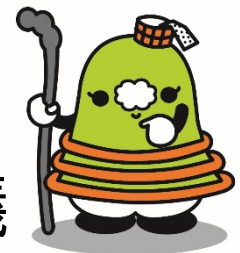


ここは旅の目的地 ～信州の南の玄関口遠山郷～

飯田市
遠山郷観光協会
遠山郷地域振興連絡会議



策定の目的・概要

【目的】

事業者・地域住民・行政がお互いの立場を尊重しつつ一丸となり、地域を取り巻く課題に対応し未来の希望を確実なものとするために、遠山郷の観光理念とそれに向かう道すじや役割を明らかにするもの。

【位置づけ】

遠山郷観光振興ビジョン・戦略計画は、「いいだ未来デザイン2028」、リニア推進ロードマップ、飯田市観光振興ビジョン、南信濃地区基本構想・基本計画、上村地区基本構想・基本計画など、関連する計画との整合性を図りながら、遠山郷観光を推進するための個別ビジョン・戦略計画として策定します。

【計画期間】

本ビジョンの計画期間は令和4年度～令和10年度とします。なお、社会情勢等の変化により随時見直すこととします。

【進行管理】

本ビジョン・戦略計画の進行管理は遠山郷観光協会が毎年度行い、飯田市は進行管理を支援するものとします。

遠山郷の観光を切り口にした地域振興

いいだ未来デザイン2028
(前期:2017年~2020年)
(中期:2021年~2024年)

基本的方向(4年間)

基本目標1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる
戦略計画(1年間)

小戦略⑥ アフターコロナの観光産業の推進

リニア推進ロードマップ

飯田市観光振興ビジョン
(2017年~2028年)

【遠山郷の位置づけ】

・遠山郷は、まちなか、天龍峡と新たな観光エリアとなるリニア駅周辺とともに**重要な拠点**。
・三遠南信自動車道の全線開通により遠州・東三河圏域からの**玄関口**となる。

【遠山郷観光の方向性】

・豊かな自然景観の保全、地域住民の暮らしや活動の維持。
・地域資源を活かすとともに**新たな特産品**を開発、観光の視点から連携させて地域振興につなげる。
・遠山郷にしかない“ほんもの体験”
・道の駅遠山郷は地方創生の拠点として必要な施設整備をする。また、その情報発信、交流の担い手の遠山郷観光協会の機能充実が必要。

上村地区基本構想・基本計画
「小さくともキラリと光る郷・かみむら」
(2020年(R2)~2029年(R12))

飯田市中心間地域振興計画
(2009年(H21)~2018年(H30))
(2019年(R1)~2028年(R10))

飯田市過疎地域持続的発展計画
(2021年(R3)~2025年(R7))

遠山郷観光振興ビジョン・戦略計画
(2022年~2028年)

【策定の目的】

・事業者・地域住民・行政がお互いの立場を尊重しつつ一丸となり、地域を取り巻く課題に対応し未来の希望を確実なものとするために、遠山郷の観光理念とそれに向かう道すじや役割を明らかにするもの。

【目指す姿】

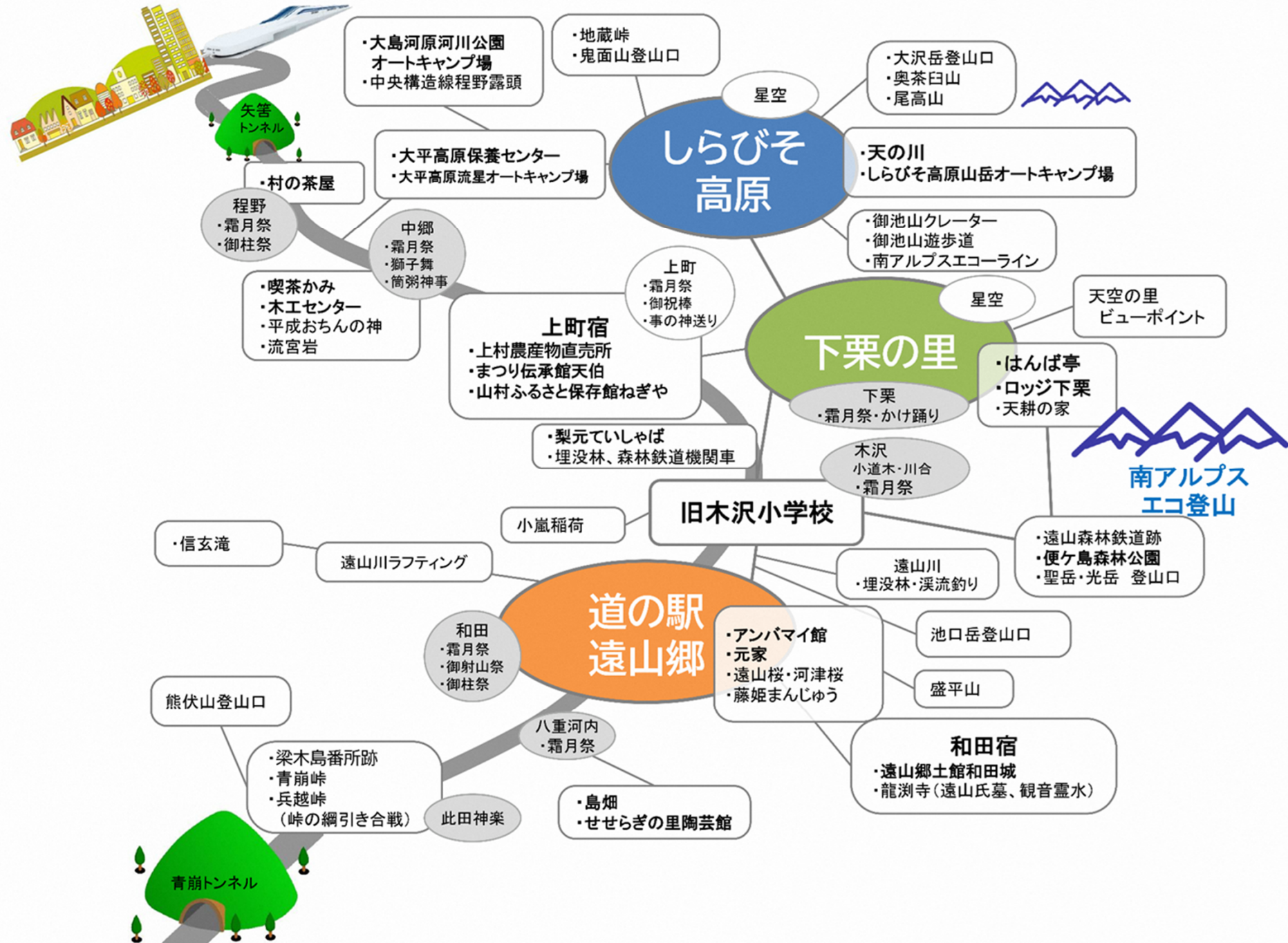
ここは旅の目的地

~信州の南の玄関口遠山郷~

第2次南信濃地区基本構想
「住み続けたい、住んでたのしい郷づくり」
(2020年(R2)~2029年(R12))

整合

遠山郷の観光施設と地域資源



遠山郷の観光を取り巻く課題

(1) 観光拠点の整備と経営の安定化

道の駅遠山郷、しらびそ高原、下栗の里は遠山郷観光の拠点であり、観光案内をはじめとする拠点機能の整備が必要です。また、観光施設が安定的に経営されることで、地域全体の観光産業の安定化、地域経済の好循環につながります。

(2) 地域資源の保全と活用

地質学的にも生物多様性の面からもたぐいまれな遠山郷の自然を守り、そして地域資源として活かすための取組が必要です。また、遠山の霜月祭をはじめとする伝統芸能や生活文化、集落景観などは、観光資源としてのポテンシャルを秘めていながら、地域全体の過疎化の中で貴重な担い手が不足し、未来へ繋いでいくことが難しいという現実には直面しています。豊かな地域資源を遠山郷ならではの観光資源に昇華させ、担い手確保につなげる必要があります。

(3) 的確なニーズ把握と効果的な情報発信

情報化社会の中で、観光客のニーズを的確に把握し、SNSなどを活用し「遠山郷の今」を効果的に発信していく必要があります。また、遠山郷を訪れた観光客がそのニーズに合わせた的確な情報をワンストップで入手できるような総合窓口を整備する必要があります。

遠山郷の観光を取り巻く課題

(4) 将来を見据えた観光施設のあり方の検討

遠山地域内の観光施設の多くは建設から20年以上経過し、老朽化による大掛かりな改修が必要な状況となっています。また、目的別に細分化した施設が点在していることでワンストップでのサービス提供ができにくい状況があります。将来の観光のあり方を見据える中で、今後観光施設をどう保全するのか、または集約していくのかなどの検討が必要です。

(5) 円滑な交通アクセスの確保

遠山郷観光における移動手段は自家用車やバイクなどによるものが大半を占めており、円滑な移動には国道をはじめとする道の整備が欠かせません。近年は集中豪雨の発生リスクが高まってきており、土砂崩れによる主要道路の通行止めをはじめ、観光地へのアクセス道の不通など、観光に多大な影響が常に発生しています。こうしたリスクを低減させるための取組が欠かせません。

(6) 感染症や災害などへのリスク対応とアフターコロナに向けた誘客戦略

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で観光関連産業は大きな打撃を受けました。また、大規模災害も毎年のように発生しています。こうした感染症の拡大や災害の発生など起こりうるリスクを想定し、持続可能な観光振興を推進していく必要があります。

特に新型コロナウイルス感染症については、「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」に向け、新たな観光ニーズを獲得するための戦略的な取組が重要となってきます。

ここは旅の目的地 ～信州の南の玄関口遠山郷～

三遠南信自動車道、リニア中央新幹線をはじめとする交通インフラが充実すれば、遠山郷は東海方面のみならず、首都圏までも日帰り圏域とした信州の南の玄関口となり、観光で遠山郷を訪れる方が飛躍的に増加することが予測されます。

訪問客の増加は、遠山郷の魅力や価値を多くの人に知ってもらうチャンスとなる一方、観光地としてのコンテンツやサービスはこれまで以上に高い質が求められます。

遠山郷の価値をわたしたち一人ひとりが自覚し、誇りをもって磨き上げていくことができれば、単なる玄関口や通過点ではなく、遠山郷を目当てに何度も足を運ぶファンが増えていくことでしょう。

基幹産業としての観光業を活性化し、遠山郷の価値を磨きあげることができれば、交流・定住人口の増加につながり、住民の活力が遠山郷の魅力をさらに高めます。こうした好循環により、持続可能な遠山郷が実現することを目指します。

遠山郷の3つの価値

山岳

南アルプス、大自然

遠山郷はユネスコエコパーク、日本ジオパークの2つのエリアが重なっている国内唯一の重複指定地域で、多くの地質遺産と生物多様性の魅力にあふれた地域です。教育観光や学術観光、エコ登山など人と自然との共存を考え、新たな魅力を創出していく可能性を秘めています。

また、しらびそ高原などは、春の新緑、秋の紅葉、満天の星空など、高原ならではの魅力を、ドライブやハイキングをしながら手軽に楽しめます。登山愛好家から気軽な自然散策まで、幅広いニーズに対応できるのが遠山郷の山岳の魅力です。

伝統

霜月神楽、生活文化

厳しい自然の中で生きる人々は、遠山の霜月祭に代表される芸能や信仰を、長い歴史の中で育んできました。祭りは住民と地域のアイデンティティを支えるものとして、その価値はますます大きくなっていきます。

下栗の里に代表される山村の景観や、そこで受け継がれてきた伝統食、生活の知恵なども同様です。

全国の山村の活力が衰退しつつある今、伝統文化を守り活用することで遠山郷のブランド力を高め、それを経済効果に繋げてコミュニティの持続可能性を高める好循環を確立することが求められています。

人

歓迎の心、挑戦の風

江戸時代から秋葉街道の宿場町として栄えた遠山郷には、旅人を温かく受け入れる土壌が古くから根付いてきました。

この地に足繁く通う「遠山郷ファン」たちは、遠山郷の住民一人ひとりの人柄や生き様に魅了された「遠山人ファン」でもあります。

どんな地域資源も、それが生かせるか否かは人の知恵と意志にかかっています。

年齢、出身、居住地、所属、立場を超え、おもてなしの意識を共有し、アイデアを出し合い実践する「遠山人」自体が遠山郷の価値であり、ファンを引き付ける大きな魅力となっています。

遠山郷の価値を活かす5つの柱

※5つの柱は互いに関連・重層・補完しあうものです。

1

惹かれ、満たされ、
ずっと居たくなる魅力づくり

通りすがりでも立ち寄りたくなる→思わず長居したくなる→何度も来たくなる→ずっと遠山に居たくなる。そんな滞在型観光の魅力づくり・受け皿づくりを、地域の資源・人材を活かしつつ、客観的な視点を重視しながら進めます。

2

山岳文化を未来につなぐ
エコ登山・山岳高原観光

人々の生活や文化、自然環境や景観との共存を図りながら、エコツーリズムの考え方に基づいたエコ登山や、手軽ながらも満足度の高い山岳高原観光を推進します。

3

地域を支える基幹産業
としての拠点・インフラ整備

安心して観光を楽しめるよう、地域内の円滑な交通アクセスを確保することに合わせ、既存観光施設の再整備、運営組織の体制強化などを通じ、観光産業の安定化を進め、地域経済の好循環につなげます。

4

内外の多くの個性が
交流・成長・活躍できる人づくり

地域内外の若者や起業を目指すUIターン者、元気な高齢者など、さまざまなマンパワーが観光に関わり、意見・アイデアを出し合い、成長し、活躍できる環境・態勢づくり、イベント実施を進めます。

5

リニア時代を先取りした
連携と戦略的誘客

三遠南信自動車道やリニア中央新幹線の開通を見据え、戦略的に誘客を進めるため、観光資源の有機的な連携による周遊観光の促進、長野県などとの連携による広域観光圏の魅力向上並びにビジョンが共有できる民間事業者との連携による地域観光力の向上及び観光DXの推進を図ります。

【戦略計画】 柱1 惹かれ、満たされ、ずっと居たくなる魅力づくり

通りすがりでも立ち寄りたくなる→思わず長居したくなる→何度も来たくなる→ずっと遠山に居たくなる。そんな滞在型観光の魅力づくり・受け皿づくりを、地域の資源・人材を活かしつつ、客観的な視点を重視しながら進めます。

1. 体験型観光の充実【重点項目】
2. 消費者ニーズを喚起する付加価値の創出【重点項目】
3. 宿泊施設・サービスの充実【重点項目】
4. 暮らしがつくる景観・空間の魅力アップ【重点項目】
5. おもてなし、受け入れの質の向上
6. 滞在型観光の推進

【重点事業】

事業名		遠山郷体験プログラム推進事業
事業内容		遠山郷の体験観光関係者が連携し、魅力的な体験プログラムを開発し磨き上げるとともに、体験ガイドを発掘し養成します。 宿泊と体験を組み合わせたプランを開発します。
役割	飯田市	必要に応じて専門家の紹介や情報提供、事業費の確保などについて支援します。
	遠山郷観光協会	体験プログラムのPRを行い、ガイドの機会を増やします。 南信州観光公社等と連携し、魅力的な体験プログラムの開発、インストラクターの研修、プログラムの磨き上げの支援をします。 宿泊と体験を組み合わせたプランを開発します。 利用者の利便性向上を図るために受け入れ窓口の一本化を目指します。
	地域	体験観光事業者および宿泊業者が連携して事業を推進します。
関連する課題		(1)(2)(3)(6)

事業名		「ここしか」名物発掘・開発プロジェクト事業
事業内容		有志によるプロジェクトを立ち上げ、外部の知見を取り込みながら、地元食材にこだわった”ここでは味わえない”メニューや商品の開発・販売を行います。
役割	飯田市	必要に応じて専門家の紹介や情報提供、事業費の確保などについて支援します。
	遠山郷観光協会	発掘・開発した商品を効果的に情報発信する支援を行います。 発掘・開発に必要な情報提供を行います。
	地域	飯田商工会議所遠山郷支部の部会や飲食関係者などがプロジェクトの主体となりメニュー開発、販路の確保などを進めます。
備考		販売方法の例：キャンプ利用者などに向けた冷凍食品の自販機 開発商品の例：地元食材を使った冷凍食品(鹿肉シチュー等)、竹を使った鹿肉ロースト、鹿肉ジャーキー、スモークサーモン、豆腐、ヤマブドウワインなど
関連する課題		(2)(6)

事業名		世界に誇る「遠山ジビエ」普及推進事業
事業内容		遠山郷を中心に、高品質な山肉を手頃な価格で十分に供給できるシステムを構築し、「遠山ジビエ」の普及・PRに努めます。
役割	飯田市	「遠山ジビエ」のブランド力向上に向け「焼肉の街飯田」との連携を推進します。 ジビエに適した鳥獣捕獲方法について、狩猟者の知識向上・技術向上を支援します。
	遠山郷観光協会	遠山郷の山肉文化および、質の高いジビエ料理を提供する店舗を積極的にPRします。 (ジビエラリー、ジンギス井ラリーなどのイベント開催)
	地域	地元の狩猟者は、対象となる鳥獣を「山の宝」と認識し、高品質の原料供給に努めます。 飲食店などは、関連する技術と知識の向上に努め、質の高いジビエメニューを提供します。
関連する課題		(2)(6)

事業名		宿場の魅力向上事業
事業内容		和田宿や上町宿など、秋葉街道の宿場町らしい魅力を向上させます。
役割	飯田市	空き家活用を推進し、まちづくりにおける景観形成のための情報提供・景観保全に取り組みます。
	遠山郷観光協会	散策マップ等の作成・更新、案内板の設置・更新、ガイド人養成などを行います。
	地域	地域団体を中心に、町場の魅力アップのために、歴史学習を実施したり、環境美化活動を進めたり、自らができることを整理・実行します。 住民一人ひとりが観光客への「おもてなし」の意識向上に努めます。
関連する課題		(2)(6)

柱2 山岳文化を未来につなぐエコ登山・山岳高原観光

人々の生活や文化、自然環境や景観との共存を図りながら、エコツーリズムの考え方に基づいたエコ登山や、手軽ながらも満足度の高い山岳高原観光を推進します。

1. エコ登山の普及・推進【重点項目】
2. キラリと光る山岳高原観光の推進【重点項目】
3. エコパーク・ジオパークの推進

【重点事業】

事業名		エコ登山推進事業
事業内容		エコツーリズムの考え方に基づいたエコ登山を推進します。 拠点機能(ビジターセンター)の設置について検討します。
役割	飯田市	市内の推進体制を構築し、関連機関との連携を図ります。 エコツーリズム推進協議会の設立について検討します。
	遠山郷 観光協会	エコ登山の魅力を発信するとともにその理念を啓発します。 マイカー規制や二次交通など登山客の移動手段について検討し、その仕組みを構築します。
	地域	遠山山の会や南信州山岳文化伝統の会を中心に、事業に主体的に参画、実施します。
関連する課題		(2)(3)(4)(5)(6)

事業名		南アルプスエコパーク・ジオパーク推進事業
事業内容		国内唯一のエコパークとジオパークの重複指定地域であるという優位性を 観光資源として活かし、体験学習や教育旅行などを受け入れて地域の活性化 に繋がります。
役割	飯田市	関係市町村と連携し、エコパーク・ジオパークの理念を広め、遠山郷の持つ 価値を顕在化し、地域内外へ発信します。
	遠山郷 観光協会	パンフレットを作成し、HPを活用して情報を発信します。 地域に存するエコロジーやジオロジーを活用し、具体的なイベントを企画し 実施します。 南信州観光公社と連携してガイドを養成し、ツアーを実施します。
	地域	エコパーク・ジオパークについての理解を深め、これらのエリアの中の暮らし に誇りを持ち、生活者の視点で情報発信をします。
関連する課題		(2)(3)(6)

事業名		星の里遠山ブランド化事業
事業内容		しらびそ高原や下栗の里などを中心に、遠山郷で見られる星空の美しさをア ピールし、星空観察などのプログラム提供によって観光客数の増加と遠山郷 のブランド強化を図ります。
役割	飯田市	必要に応じて専門家の紹介や情報提供、事業費の確保などについて支援し ます。
	遠山郷 観光協会	印刷物やネットを使ったPRを行います。南信州観光公社と連携してメニュー を開発し、ツアーを実施します。
	地域	星空観察と組み合わせた宿泊プログラムの提供などを行います。
備考		南信州観光公社との連携のほか、阿智村など他の星空ブランド地域との連 携も検討します。
関連する課題		(1)(2)(3)(6)

柱3 地域を支える基幹産業としての拠点・インフラ整備

安心して観光を楽しめるよう、地域内の円滑な交通アクセスを確保することに合わせ、既存観光施設の再整備、運営組織の体制強化などを通じ、観光産業の安定化を進め、地域経済の好循環につなげます。

1. 3拠点を軸とした公共施設のマネジメント【重点項目】

【主な施設の役割と今後の方針】

・道の駅遠山郷

三遠南信自動車道の開通効果を最大限に活かし、信州の南の玄関口として地域に根差した観光の拠点施設を目指します。

・しらびそ高原(天の川)

高原を満喫する日帰り観光、および南アルプス登山観光の拠点としての機能を充実させます。星空観光に重点を置いた宿泊施設としての顧客満足度の向上に努めます。

・下栗の里(はんば亭・ロッジ下栗)

住民生活に最大の配慮を行いながら、「秘境」遠山郷のシンボルとして景観や遊歩道などを維持保全するとともに、観光客の消費行動につながる仕組みを強化します。

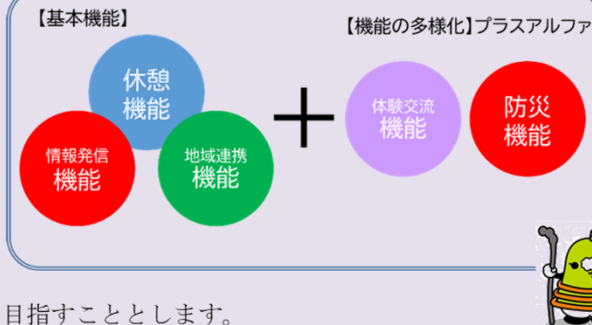
道の駅遠山郷の今後の方向性(抜粋)

導入する機能の基本方針

道の駅は、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の人々のための「情報発信機能」、地域が連携しながら地域づくりを行うための「地域連携機能」の3つの基本機能を有することが求められています。また近年では基本機能に加え、農業・観光・コミュニティ・防災・文化・環境保全など、地域の個性や魅力を活かした様々な取り組みを行う道の駅も増えてきています。

■ 導入機能のイメージ

道の駅遠山郷の再整備にあたっては、基本機能(休憩機能、情報発信機能、地域連携機能)に加え、遠山郷の魅力を満喫できる「体験交流機能」と、大規模災害等に対応するための「防災機能」を追加し、これらの機能が密接に連携し相乗効果を発揮する道の駅を目指すこととします。



基本コンセプト ～ 信州の南の玄関口 情報・交流・チャレンジ・防災の拠点 ～

(1)長野県、南信州、遠山郷の旅を満喫するための情報拠点

三遠南信自動車道青崩トンネルの開通により、道の駅遠山郷は信州の南の玄関口となり多くの道路利用者、観光客が訪れることとなります。道の駅遠山郷はこれらの方々々が信州の旅を満喫するために必要な情報を集約し、ニーズに合わせて適切に提供できる情報の拠点を目指します。



(2)遠山郷を体験し、味わい尽くせる交流拠点

遠山郷は、自然、歴史、食、人などの魅力にあふれた地域です。年配・若年世代、観光客・ライダーなどが、それぞれのスタイルで遠山郷の豊かな魅力に触れ、味わい尽くすことができるような交流の拠点を目指します。

(3)地域が繋がり、新しいことにチャレンジできる活動拠点

道の駅遠山郷は遠山郷に暮らす人々の心を繋ぐ可能性を秘めています。様々な夢を持つ人々がここで繋がり、地域の活力を生み出し、新しいことにチャレンジする活動を広げることができるような施設を目指します。



(4)広域的な安心・安全を守る防災拠点

近年頻繁に発生する豪雨災害や近い将来想定されている南海トラフ地震への対応を視野に入れ、三遠南信自動車道を軸とした広域的な防災機能を整備しておく必要があります。遠山郷に暮らす人々だけでなく、観光で遠山郷を訪れた方々も含め、その命を守るための拠点としての施設を目指します。

2. 道路網の整備とアクセス手段の確保

柱4 内外の多くの個性が交流・成長・活躍できる人づくり

地域内外の若者や起業を目指すUIターン者、元気な高齢者など、さまざまなマンパワーが観光に関わり、意見・アイデアを出し合い、成長し、活躍できる環境・態勢づくり、イベント実施を進めます。

1. 人材の育成・定着促進、事業支援【重点項目】
2. 人と人の心を結ぶ魅力的なイベントの実施【重点項目】
3. 都市と地域を結ぶたまり場「旧木沢小学校」の活用
4. 自然豊かな下栗の里の景観保全を軸とした様々な交流

【重点事業】

事業名		ステップアップ！観光コンシェルジュ事業
事業内容		宿泊業や飲食業など観光客に接する立場の人たちが、遠山郷および周辺地域の観光案内を適切にお客様に行えるよう、研修や情報共有(観光パンフレットの設置斡旋など含む)を行います。
役割	飯田市	必要に応じて専門家の紹介や情報提供、事業費の確保などについて支援します。
	遠山郷観光協会	観光案内に活用できる資料を作成し更新していきます。 観光関係団体と連携して円滑な情報共有を支援します。 宿泊業や飲食業など観光客に接する方々を対象に、観光案内を行うための研修を行います。
	地域	事業者は研修に積極的に参画するとともに、日頃から観光情報の収集に努めいつでも案内できる態勢を整えます。
備考		地域の価値を知り、高めるための歴史的ストックと学習推進事業と関連します。
関連する課題		(1)(2)(3)(6)

事業名		魅力的なイベントの改良事業
事業内容		峠の国盗り綱引き、チャレンジマラニック、御射山祭り等のイベントの魅力を向上し継続的に実施することで、地域の活性化に貢献します。
役割	飯田市	飯田市や関連機関と連携し、広報を行います。 イベントの有用性を客観的に判断し、支援の内容を検討します。
	遠山郷観光協会	イベントに合わせたオプションツアーの企画、宿との連携促進、商品PR等を行います。
	地域	各事業者は、イベントでの集客規模に応じて参加者・来訪者に提供できるサービス・商品を整えます。
関連する課題		(2)(3)(6)

柱5 リニア時代を先取りした連携と戦略的誘客

三遠南信自動車道やリニア中央新幹線の開通を見据え、戦略的に誘客を進めるため、観光資源の有機的な連携による周遊観光の促進、長野県などとの連携による広域観光圏の魅力向上並びにビジョンが共有できる民間事業者との連携による地域観光力の向上及び観光DXの推進を図ります。

1. テーマ・ストーリーを重視したブランディング戦略の推進【重点項目】
2. 民間事業者との連携と観光DXの推進【重点項目】
3. 地域内での連携
4. 地域外との連携
5. 日帰り圏域をターゲットとした戦略的誘客
6. インバウンドの受け入れ

【重点事業】

事業名	地域の価値を知り、高めるための歴史的ストックと学習推進事業	
事業内容	遠山郷の内外の人々が遠山郷の価値を学び育てるための生涯学習プラットフォームを活用し、遠山郷に内在するテーマ性・ストーリー性にあふれる価値を顕在化・共有化し、高質な遠山ブランドを構築します。	
役割	飯田市	飯田市教育委員会や学輪 IIDA などと連携し、遠山郷の内外の人々が遠山郷の価値を学び、その価値を顕在化し発信できる主体者を育てます。
	遠山郷観光協会	過去の歴史遺産のストックと遠山の今を未来へ繋いでいくことを目的に、フォトストックを充実させるなど、その価値を分かりやすく伝えていく取組を充実させます。
	地域	自然学習会や遠山常民大学など、地域で開催される生涯学習に積極参加することで、誰もが遠山郷の価値を語れるようにします。
備考	ステップアップ！観光コンシェルジュ事業と関連します。	
関連する課題	(2)(6)	

事業名	デジタルマーケティング推進事業	
事業内容	デジタルマーケティングの手法を用い、地域内の観光に関するマーケティングを推進します。 強みと弱みを分析し、特に弱みの部分を強化できる取組を推進します。 オンライン予約の導入、地図アプリおよびSNSを使った情報発信、ECサイトの立ち上げ、キャッシュレス決済、フリーWi-Fiの導入などについて事業者の相談に乗るなどの支援を行います。	
役割	飯田市	地域の現状を調査し、強みと弱みを明確にします。弱みに対する支援策を検討します。
	遠山郷観光協会	IT機器の導入や活用法について指導やアドバイスをを行います。 情報プラットフォームの構築を検討します。 SNSを活用した情報発信を推進します。
	地域	必要な知識やスキルの向上、設備の導入を検討します。 SNSを活用した情報発信を推進します。
関連する課題	(3)(4)(6)	